

100% 手作りのお世話®

親御様のためのセミナー
「子供の結婚を考える」
お子様のご結婚について
お悩みはございませんか？



山名友子の
結婚物語 やがて
ホロリ

自分のものとなった唯一の縁を抱いて退会される
会員さんからは、実に様々な言葉をいただきます。
喜びの声、感謝の気持ち、ちょっぴり反省の
弁、そして後進へのアドバイス。会員さんの人とな
りがしのばれ… → 続きはWebで [Em Road 結婚](#)

Marriage Road 結婚

資料無料 • ドクターズ • エグゼクティブ • スタンダード 各コース

0120-4122-46 10:00~18:00 水曜定休

大阪本社 〒530-0043 大阪市北区天満3-2-2 エムロードビル3F

Em Roadはここが違います

- 1 成婚率の高さ
- 2 質の高い会員層
- 3 専任アドバイザーによる一貫したお世話
- 4 自社会員のみ構成
- 5 個人情報のパーフェクト・プロテクション

神戸 神戸国際会館22F

京都 オフィス・ワン四条烏丸6F

東京 丸の内トラストタワー20F

大阪医科薬科大学 仁泉会 ニュース

仁泉会ニュース 第53巻 第5号

発行所

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX

072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数

安藤嗣彦 6,250部

URL

<http://www.jinsenkai.net>



秋の夜長は
ゆっくりとした時間を
すごしませんか



Super Smart Hospital

スマート医療を推進する大学病院

「バイオフィリア」という概念を取り入れ、自然と触れ合うことで健康や幸せを得られる空間を実現。

AIやロボットなど先端技術を活用し、効率的で「安全・安心な高度医療」を提供。

最先端の医療技術や高度な多職種連携の学びにより次世代を担う「優れた医療人を育成」。

2027年全容完成予定

2025年B棟完成

2022年A棟完成



至誠仁術を備える人材の育成をめざして

数十年先の未来医療へ

大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

〔ご支援のお願い〕



Since 1927



募集要項

募金目的▶大学病院新本館建築に係る資金、学生支援体制の充実

募金目標▶10億円

募集期間▶～2027年3月

募金単位▶個人：1口1万円、法人：1口10万円

頭 彰▶個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、未永く顕彰いたします

特 典▶個人：10口以上、法人：5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック（基本コース）1回分の無料受診券を進呈します。

申込方法

学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申しいただくか、募金推進本部までご連絡ください。

<https://www.omp.ac.jp/donation/index.html>



1960年病院1号館完成



〔税制上の優遇措置〕

学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

【ご寄付に関するお問い合わせ先】 学校法人大阪医科薬科大学募金推進本部 ☎072-684-7243

2023年秋開業医療ビル 医院/クリニック/調剤薬局の 新規・移転開業向けテナント

2023年6月竣工予定

JR「高槻駅」徒歩3分「けやき大通り」沿い
テナント募集開始



人気エリア高槻

大阪北摂の人気エリア高槻
好立地、視認性も高く
良好な集見が見込めます。



抜群のアクセス

JR京都線高槻駅徒歩3分
阪急京都線高槻駅徒歩6分
バス通りに面しアクセス抜群。



医療に特化

バリアフリー・電気容量・
13人用エレベーターなど
医療向け仕様で設計。



物件詳細

名称 高槻市新規開業医療ビル計画
事業主(貸主) 世紀エステート株式会社(ホテルクレストいばらき)
所在地 大阪府高槻市上田辺町10番2号
(旧TSKけやき通り駐輪場)

交通 JR高槻駅南口より徒歩3分
阪急電鉄高槻市駅出口(北側)より徒歩6分
バス停「市役所前」(市営・京阪)より徒歩1分

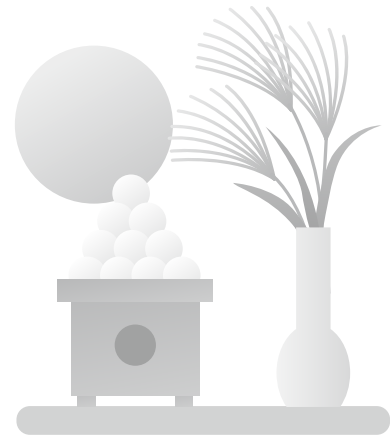
用途 医療テナント用ビル
規模 地上6階建
構造 鉄筋コンクリート造
設計 大昭工業株式会社一級建築士事務所
施工 大昭工業株式会社
エレベーター 13人用(1台)
竣工予定 2023年6月30日(予定)
募集予定区画 6~8区画
区画面積 30~70坪
募集階 1~6階
募集科目 内科 外科 整形外科 眼科 耳鼻咽喉科
皮膚科 形成外科 美容外科 小児科
産婦人科 泌尿器科 心療内科 歯科
調剤薬局 他

賃貸借条件等 お問い合わせください



お問い合わせ先 大阪府茨本市駅前一丁目3番2号
世紀エステート株式会社 (ホテルクレストいばらき)
担当: 町田
ホームページ: <https://crest-medical-mall.com>
E-mail: machida@seiki-crest.jp
TEL:072-620-2020 (ホテルクレストいばらき)
TEL:090-9047-5997 (町田)

目次



- P4 祝・高槻市医師会 第18代会長 ご就任！ 保田 浩先生（学31期）
- P5 祝・大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部教授ご就任！
堺 景子先生（学40期）
- P6 祝・大阪市中央区東医師会 会長ご就任！ 村野実之先生（学41期）
- P7 受賞報告 織田行雄先生（学37期）
塗 隆志先生（学52期）
- 支部だより
- P8 令和4年度仁泉会高槻支部総会 白石将史（学50期）
- P10 令和4年度仁泉会神戸支部支部総会報告 藤田能久（学47期）
- P12 第1回 大阪医科薬科大学女性医師の会総会ならびに講演会の報告
福本敏子（学24期）
- P13 大阪医科大学 女性医師の会メールアドレスご登録のお願い
学会報告
- P14 第123回 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会における特別講演のご報告
寺田哲也（学41期）
- 特別寄稿
- P15 うちの医師会、ここが自慢（うり） 寺村和久（学37期）
- 開業のご報告
- P16 開業しました！ 富田誠司（学43期）
- P18 開業しました！ 井元恵津子（学52期）
- P19 開業しました！ 印藤直彦（学56期）
- P19 開業しました！ 齋藤明葉（学60期）
- クラス会だより
- P20 49杯ゴルフコンペ報告 竹中正純（学23期）
仁泉ひろば
- P21 成句（1） 西村 保（学4期）
- P22 生物学とクラミジアの事 岡野 准（学21期）
- P24 あの頃の未来予想図 小嶋昭次郎（学29期）
- P25 冊子切抜 植木 實先生先生（学12期）・保田 浩先生先生（学31期）
- P26 新聞切抜 中山潤一先生（学44期）
- P27 会員著書 池永良介（井尻慎一郎先生 学31期）
- P28 会員著書 井尻慎一郎先生（学31期）
- P30 まんが第57回 石原ぼん太郎（学31期）
本部だより
- P31 会員訃報
- P33 編集後記
- P34 テナント募集



祝・高槻市医師会 第18代会長 ご就任！ 保田 浩先生（学31期）

ご挨拶

文責／保田 浩（高槻市医師会 第18代会長 学31期）

2022年6月21日に高槻市医師会 第18代会長に就任いたしました。高槻市医師会は、高槻市と島本町の約38万人の地域医療を担っており、現在の会員は678名です。その中で仁泉会会員は、大学のお膝元ということもあって227名おります。私は、堺市で生まれました。父は産婦人科の開業医でしたが、大学が高槻であったのと、小児科に入局したため、この高槻の地で開業することとなりました。大学の小児科時代は美濃 真教授ご夫妻に大変お世話になり感謝しております。

医師会では福利厚生（宴会やクラブ）担当理事を長くさせて頂いたおかげで、多くの会員の皆さんと交流することができました。今回もその方々より力を頂いております。

さて、母校ですが、新本館A棟が竣工いたしました。特定機能病院として高度な医療を提供し、また、三島医療圏の三次救急医療を担う「救急救命センター」が入り、より充実した医療体制になりました。医師会としても心強いばかりです。今後とも密に連携を取りながら高槻・島本地区の医療を守るため取り組んでまいります。



保田 浩先生ご経歴

1982年 3月 大阪医科大学医学部卒業
1982年 6月 大阪医科大学小児科学教室(美濃 真教授)入局
1984年 4月 大阪医科大学大学院(小児科)入学
1989年 7月 博士(医学)取得
1991年 4月 東京大学工学部反応化学科助手(2年)
1995年 4月 やすだクリニック開設
2006年 4月 高槻市医師会理事(厚生福利担当)
2018年 6月 大阪医科薬科大学仁泉会高槻支部長
2020年 6月 高槻市医師会副会長
2022年 6月 高槻市医師会会長



祝・大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部教授ご就任！ 堺 景子先生（学40期）

ご挨拶

文責／堺 景子（大阪河崎リハビリテーション大学
リハビリテーション学部教授 学40期）

この度、2021年10月1日付けで大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部作業療法学専攻教授に就任いたしました。

私は1991年に大阪医科大学を卒業後、本学神経精神医学教室に入局いたしました。1993年からは本学大学院に進み、当時の神経精神医学教室教授堺 俊明先生のご指導の下、学位を授与されました。大学院修了後、米国ハーバード大学に留学し、Ming T.Tsuang 教授にご指導賜り、統合失調症患者の神経心理学的評価について学ぶ機会を頂戴いたしました。帰国後は本学神経精神医学教室関連の精神科病院に勤務しながら3人の子供の育児に追われ、大変忙しくしていたことを懐かしく思います。子育ても一段落した2014年、米田 博前神経精神医学教室教授のご推薦により、関西大学大学院心理学研究科に特別任用教授として就任いたしました。それとともに同大学の寺嶋繁典教授、岡田弘司教授にご指導賜りながら関西大学保健管理センター心理相談室で学生の相談業務に携わる機会を頂戴いたしました。このことが大きなターニングポイントとなり、現在に至るまで教育現場における学生のメンタルヘルスが私のメインテーマとなっております。

2021年10月より、大阪医科薬科大学神経精神医学教室金沢徹文教授のご推薦により、母校の大先輩である河崎建人理事長、大阪大学名誉教授武田雅俊学長の下、大阪河崎リハビリテーション大学にてリハビリテーション職を目指す学生の教育に取り組んでおります。将来の医療職として私達とともに医療を支えていく学生が健やかに成長するよう尽力する次第でございます。

これまで母校の先生方には、一方ならぬご厚情を賜り大変感謝しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後とも一層のご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



堺(旧姓 池内) 景子先生ご経歴

1991年 大阪医科大学医学部卒業
1993年 大阪医科大学大学院医学研究科医学専攻博士課程入学
1997年 博士(医学)の学位授与
米国ハーバード大学留学
2001年 大阪精神医学研究所新阿武山病院勤務
2014年 関西大学大学院心理学研究科心理臨床学専攻特別任用教授
2021年 大阪河崎リハビリテーション大学
リハビリテーション学部作業療法学専攻 教授



祝・大阪市中心区東医師会 会長ご就任！ 村野実之先生（学41期）

ご挨拶

文責／村野実之
(大阪市中心区東医師会 会長 学41期)

この度2022年6月より大阪市中心区東医師会の会長に就任いたしました、学41期の村野実之です。1992年に大阪医大を卒業後、母校第2内科（現消化器内科）で炎症性腸疾患を専門とし従事しておりました。2011年12月に大阪市中心区の淀屋橋で開業し、内視鏡検査を中心とした業務を推進しております。2020年初頭より始まった新型コロナウイルス感染爆発により、当地区の新型コロナ診療体制やその情報提供、ワクチン集団接種体制の構築などに明け暮れる日々が続き、少し収束してきた時期に会長という大きな波が押し寄せてまいりました。未だ開業10年の若輩ものであり、その責務を痛感しておりますが、学32期の丸川恭子先生に絶大なご支援いただきながら当医師会を始動しております。

学生時代は野球部に属しクラブ活動中心で授業もさぼり不真面目な生活をしておりましたが、この時期になり付けが回ってきたのか診療後や週末はほぼ会議や研究会に出席しております。その際、多くの仁泉会の先輩方からお声をかけて頂き、仁泉会の強い絆を痛感しております。

収束の兆しが見えない新型コロナウイルスや新規感染症、地域医療構想など沢山の課題が山積しておりますが、地域住民の医療、健康保持増進に貢献していくため執行部一丸となり、精一杯会務に取り組んでまいります。

今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



村野実之先生ご経歴

平成4年	大阪医科大学卒業
平成4年	大阪医科大学 第2内科（消化器内科）入局
平成6年	仙養会北摂総合病院
平成7年	阪本蒼生会蒼生病院
平成8年	大阪医科大学大学院 第2内科
平成12年	New York University 分子病理学教室 留学
平成14年	大阪医科大学 第2内科 助手
平成19年	大阪医科大学 第2内科 講師（准）
平成23年	大阪医科大学 第2内科 講師
平成23年	むらのクリニック 院長
平成27年	医療法人 むらのクリニック 理事長

受賞報告

下記の先生方の受賞が判明いたしました。
母校として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

厚生労働大臣功績賞

織田行雄先生（学37期）

令和4年度兵庫労働局安全衛生表彰において、日々安全衛生管理活動を積極的に進められ、優秀な成果をあげられたことにより、織田行雄先生が厚生労働大臣功績賞を受賞されました。

先生の受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

第27回日本形成外科手術手技学会 優秀演題賞

塗 隆志先生（学52期）

令和4年2月19日、三川信之（千葉大学形成外科教授）会長のもとで開催された第27回日本形成外科手術手技学会において優秀演題賞を受賞しました。今回の発表では口唇の動静脈奇形切除によって生じた組織欠損に対して、マイクロサージャリーの技術を用いて、薄筋移植と運動神経縫合による口輪筋の動的な再建と、皮膚及び粘膜表面の知覚再建を行った患者の長期経過を報告いたしました。マイクロサージャリーを用いた組織移植は、もともと腫瘍切除や外傷に伴う組織欠損を補うことが主な目的ですが、そこに機能の付加する再建方法は大阪医科薬科大学形成外科の特徴の一つです。今回報告した「薄筋と前腕皮弁を組み合わせを行った口唇再建症例の10年後の経過」により、われわれの行っている機能再建方法が長期的な経過からも有用であることを示し、その内容が高い評価を得ました。

この度、ご指導いただいた上田教授および関係者の皆様に感謝申し上げます。

形成外科准教授 塗 隆志



支部だより ●●●

令和4年度仁泉会高槻支部総会

文責／白石将史（学50期）

令和4年6月18日（土）、ホテルアベストグランデ高槻で令和4年度仁泉会高槻支部総会が開催されました。梅雨の時期でしたが、晴天に恵まれ、御来賓7名、会員38名、特別会員（他学出身で大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）で研修等された高槻市医師会A会員の先生方）2名の計47名の先生に出席して頂きました。

総会では稲毛昭彦先生が司会を務め、議事に先立ち前年度物故会員となられた王龍三先生、服部良治先生に対し黙祷を捧げました。始めに支部長の保田浩先生よりご挨拶及び会務報告を頂き、次に仁泉会理事長 安藤嗣彦先生よりご挨拶と仁泉会の現状のご報告を頂き、そして高槻市医師会会長 木野昌也先生より昨今の医療情勢、任期中の高槻市医師会の取り組み、次期高槻市医師会会長に保田浩先生が選定されたことをご報告頂きました。

総会議事として幹事の峰晴昭仁先生より令和3年度収支決算の説明があり承認されました。また、今年度は仁泉会高槻支部役員改選の年でありましたが、現役員全員継続させて頂くことが承認されました。

傘寿のお祝いを小野秀太先生、伊藤正尚先生に、喜寿のお祝いを石河清彦先生、坂中勝先生にさせて頂き、皆様にご挨拶を頂きました。また当日ご欠席でしたが、傘寿のお祝いが吉田亮三先生に、喜寿のお祝いが平野敏行先生、宮城建雄先生に、古希のお祝いが清水達雄先生、大西雅彦先生、末吉公三先生、三木正之先生、中島立博先生、西本泰久先生にありましたことをご報告させて頂きました。


新入会員紹介では今回初めて総会にご出席頂いた辻雄一郎先生、今年ご開業された紀貴之先生、依藤直紀先生に今後の抱負も含めてご挨拶して頂き、続いて学28期の関庚燁先生よりご挨拶頂きました。

続いてご来賓賜りました大阪医科薬科大学学長 佐野浩一先生より大阪医科大学と大阪薬科大学の統合についてのお話を、大阪



ご挨拶頂きました
佐野浩一学長

医科薬科大学医学部長 内山和久先生より医学部学生教育の現状のご報告を、大阪医科薬科大学病院長 南敏明先生より新本館A棟についてのご説明を頂きました。

特別講演会では座長を新井基弘先生が務め、大阪医科薬科大学脳神経外科学教室教授、鰐淵昌彦先生より「当教室の特徴と頭蓋底外科手術の紹介」のタイトルで御講演いただきました。内容は①自己紹介、②教室、同門
ご講演頂きました
鰐淵昌彦先生

③頭蓋底手術紹介、④手術に対する姿勢を順を追ってお話頂きました。
①自己紹介では、小、中、高校時はブルース・リー、ジャッキー・チェン、北斗の拳にはまり、高校、大学で空手部に所属され、札幌医科大空手部では、東医体で3年時、4年時に優勝、北海道強化選手に選出と輝かしい成績を残されました。これまでにご自身の携わった手術件数は2434例で、大きな転機がこれまで数回あり、その一つが1回目の大学帰学時で、頭蓋底手術を経験され、それまでの「手術の上手な医師になりたい」から「難手術ができる医師になりたい」と考えが変わったと述べられました。もう一つの転機がDuke大学留学で、福島孝徳先生の手術見学、カダバーヘッドでの正常解剖の習得、英語のコンプレックスが消失したことも大きかったと述べられました。その後出向された帯広厚生病院では、「必ず見てくれている人がいるから、頭蓋底手術は続けろ」と言われ、2回目の大学帰学を自ら申し出され帰学されました。そして2019年に本学脳神経外科学教室教授に就任されました。

②教室、同門会紹介では、太田富雄教授、黒岩敏彦教授に続き第3代教授に就任され、教室には、脳外科の各分野のスペシャリストが揃っていることを紹介されました。また基礎研究にも積極的で、教室員全員が公的な科学研究費をとっておられ、自分のやった仕事は紙にするまでが仕事をモットーにしていると述べられました。

③頭蓋底手術の紹介では、術中ビデオを供覧頂きながら説明されました。同じ場面でも見方、見る角度が変われば、画面が変わる。特に頭蓋底手術では、どこから見るか、誰が手術するかで成績が左右し、何とか手術できるでは不十分で、安全に手術できる必要があると述べられました。「手術は神業ではなく人技」

と強調され、手術が上手くなるには訓練あるのみであると述べられました。また明確な目的を持った意図的な練習を一生かけて積み上げることが一流になる秘訣であること、希少で価値のあるスキルは大きなチャンスに姿を変えること、チャンスは雨の如く降り注ぐが、まじめに努力している人でないとただの雨かチャンスの雨か気づかないと述べられました。

④手術に対する姿勢では、同じ手術は二度なく、手術は一期一会、鬼手仏心の心で挑む。また厳格な適応、いつでもきちんとした討論ができ、その手術を選択した理由を説明できる必要があると述べられました。カンファレンスは教育を意識し、討論を厭わず、冷静かつ論理的に、相手の人格を否定せず、相手の主張と討論する姿勢が重要であると述べられました。坂本龍馬の船中八策を模して、ご自身の<術中八策>や山本五十六元帥語録の「信頼せねば人は実らず」を紹介され、任せた結果が自分の思い通りでなくとも、任せたからにはその人を信頼しようという姿勢を大事にされていることを述べられました。最後に教授になってしたいことは「人を育てたい」、という言葉で締めくくられました。

その後、ご臨席賜りました本学内科学Ⅲ教室教授 星賀正明先生、本学一般・消化器外科学教室専門教授 田中慶太郎先生、本学神経精神医学教室教授 金沢徹文先生よりご挨拶頂きました。

総会はCOVID19のためここ2年間開催できず、3年ぶりの開催となりました。今回は感染予防の観点から総会と特別講演のみとなり、懇親会は開催できませんでした。それにも関わらず、多くの先生方にご参加頂きましたことを役員一同感謝しております。来年こそは懇親会も含めた完全な形での開催を願い、多数の先生方のご出席をお待ちしております。今後ともよろしくご願ひ致します。



会場風景

<出席者>(敬称略)

- 来賓 仁泉会理事長 安藤嗣彦(学20期)
- 大阪医科薬科大学 学長 佐野浩一(学29期)
- 大阪医科薬科大学 医学部長 内山和久(学32期)
- 大阪医科薬科大学 病院長 南敏明(学36期)
- 大阪医科薬科大学 内科学Ⅲ教室 教授 星賀正明(学34期)
- 大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学教室 専門教授 田中慶太郎(学40期)
- 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室 教授 金沢徹文(学49期)

特別講演講師

- 大阪医科薬科大学脳神経外科学教室 教授 鰐淵昌彦

会員

- 学12期 丸山俊郎
- 学17期 小野秀太
- 学18期 伊藤正尚
- 学20期 木野昌也、石河清彦
- 学21期 後藤研三、坂中 勝
- 学22期 樫原茂之
- 学27期 北川 真
- 学28期 関 庚燁
- 学29期 小林一朗
- 学31期 稲毛昭彦、保田 浩
- 学32期 中山明子
- 学33期 井上裕之
- 学34期 星賀正明、平井 景
- 学36期 南 敏明、新井基弘、植田直樹、
陵本清剛
- 学38期 下村裕章、本郷仁志
- 学41期 稲田泰之
- 学42期 合田公志、鄭 栄植
- 学43期 愛宕利英、川部伸一郎
- 学45期 市岡従道
- 学47期 辻雄一郎、峰晴昭仁
- 学48期 松本浩明
- 学50期 紀 貴之、白石将史、白石奈々子
- 学53期 禹 英喜
- 学57期 依藤直紀
- 特別期 大西恭子(兵庫医大、平成14年卒)

特別会員 田辺敏明、樫原崇宏

支部だより

令和4年度仁泉会神戸支部 支部総会報告

文責／藤田能久（学47期）

令和4年7月2日（土）、神戸市医師会館に於いて、令和4年度仁泉会神戸支部支部総会が開催されました。コロナ禍もあり3年ぶりの開催となりましたが、総勢32名と多数の先生方にご出席を頂きました。



増田裕嗣会長

開会の挨拶に続き、令和1年度より令和3年度までにご逝去された先生方に黙祷を捧げました。ついで、増井裕嗣先生（学29期）より会長挨拶がございました。コロナ禍に負けず支部総会を開催できたこと、また、会員の先生方が神戸市医師会・県医師会など多数の役職ポストに就任されたことなどの報告も兼ねた挨拶を頂きました。



堀本仁士先生

引き続き、神戸市医師会会長にご就任された、堀本仁士先生（学35期）より、各区医師会長を務めておられる会員の先生方と協力し、より良い医師会運営をしていきたいとのご挨拶を頂きました。

ご来賓として、本部理事長

安藤嗣彦先生（学20期）、大阪医科薬科大学学長佐野浩一先生（学29期）とお二人の先生方からもご挨拶を頂戴しました。安藤先生より、仁泉会員の先生方が、神戸市医師会、県医師会をはじめ、大阪府医師会においても重役ポストでご活躍されているとの喜ばしい現状報告がありました。



安藤嗣彦仁泉会理事長

また、同門会の役割、今後の健全な組織運営に向けて会費納入率の問題など多岐にわたるご報告を頂きました。

佐野学長からは、令和3年4月「大阪医科薬科大学」が誕生、学是「至誠仁術」の下、学部・大学院・大学病院と新体制となり、創立100周年に向けて様々な事業に取り組んでいるとのご報告を頂きました。また、大阪



佐野浩一学長

薬科大学との合併を予見していたかのような、かつての薬学研究所、薬用植物園（さわらぎキャンパス）の変遷・歴史に関してスライドでの講演を賜りました。余談として、かつての薬用植物園が「高槻中・高生憧憬の地(?)」であったとの興味深い

お話もございました。

会員先生方のお祝いとして、喜寿、安藤先生、横山光昭先生（学19期）、子弟医学部入学、米田豊先生（学30期）、木戸茉莉子先生（学42期）、東佐保子先生（学46期）に会長よりお祝いの儀が送られました。

次いで、神戸支部報告として、1) 令和1年度総会 2) 令和2年度 新年会 3) 令和2、3年度 各事業中止（コロナ禍） 4) 令和3年4月 仁泉会神戸支部会員名簿発行など各報告後、谷尻仁先生（学15期）議長の下、議事に移りました。

1) 役員交代に関して 現状役員留任 2) 令和4年度 神戸支部会費請求の再開（令和2、3年 コロナ禍にて免除） 3) 会計・収支報告 浪方典宏先生（学29期） 3) 監事報告 日下孝明先生（学16期）など、各報告後、無事、全会一致で議事が承認されました。

次年度事業報告として、令和5年1月21日（土）「神戸倶楽部（THE KOBE CLUB）」にて新年会が開催される旨、増井会長より報告がございました。例年、神戸市近隣基幹病院でご活躍の同門先生方による講演会を開催しておりましたが、コロナ禍により中止となりました。

最後に井尻慎一郎先生（学31期）より閉会の挨拶を頂き、記念撮影を終え、支部総会が滞りなく終了しました。

引き続き、ホテル北野プラザ六甲荘に会場を移し、福永晶先生（学14期）のご発声の下、懇親会が開催となりました。なお、予想をはるかに超える多くの先生方のご出席もあり、より広い会場が必要との執行部の判断で、急遽、会場変更となりました事、ご容赦頂ければと思います。

懇親会にご来賓としてご臨席賜りました、大阪医科薬科大学薬学部同窓会会長 増田豊先生（S51年卒）、大阪医科薬科大学兵庫県支部副会長、白神真百合先生（S54年卒）のご両名よりご挨拶を頂きました。法人合併、大学名変更もあり、大阪医科薬科大学薬学部同窓会としても更なる連携を図っていききたいとの心強いご

挨拶を頂きました。

感染対策を遵守しつつ、各テーブル、近況報告・情報交換など、一時の語らいの場となりました。支部総会・懇親会に初参加を頂いた、鈴木秀治先生（学38期）、木戸茉莉子先生、木全玲先生（学50期）よりご挨拶を頂きました。初参加ではございましたが、さすがに同門のこともあり、どこかで繋がり、交流があり、懇親会を楽しんでおられ、同門会の絆を再確認しました。

残念ながら校歌斉唱は叶いませんでしたが、次回、新年会に持ち越しとし、中林まゆみ先生（学29期）より閉会の挨拶があり、無事、懇親会がお開きとなりました。

以上、神戸支部総会、懇親会の報告となります。

追伸

新年会報告です。R5年1月21日（土）「神戸倶楽部（THE KOBE CLUB）」にて開催致します。学40～50期の先生方、女性の先生方の参加も徐々に増えております。

会員の先生方におかれましては、お知り合いの先生方にお声掛けの上、ご参加をお待ちしています。

ご来賓

安藤嗣彦先生（仁泉会理事長 学20期）

佐野浩一先生（大阪医科薬科大学学長 学29期）

増田豊先生（大阪医科薬科大学薬学部同窓会会長）

白神真百合先生（大阪医科薬科大学薬学部兵庫県支部副会長）

出席者（敬称略）

久後田昭（学7期）宮本一（学8期）福永晶（学14期）

谷尻仁（学15期）日下孝明（学16期）

横山光昭（学19期）岩越一彦（学22期）

石原一秀（学23期）寺師克洋（学23期）

辻本豪（学27期）中林愛晶（学27期）

中林まゆみ（学29期）浪方典宏（学29期）

増井裕嗣（学29期）森松伸一（学29期）

岡林孝直（学30期）高井豊（学30期）

米田豊（学30期）井尻慎一郎（学31期）

水谷肇（学32期）堀本仁士（学35期）

白鴻成（学36期）鈴木秀治（学38期）

中本博士（学39期）木戸茉莉子（学42期）

中山潤一（学44期）吉本明弘（学44期）

東佐保子（学46期）藤田能久（学47期）

木全玲（学50期）浪方悠（学65期）



支部だより ●●●

第1回 大阪医科薬科大学 女性医師の会総会ならびに 講演会の報告

文責／大阪医科薬科大学女性医師の会 会長 福本敏子（学24期）

令和4年6月18日（土）に帝国ホテル大阪において第1回総会ならびに講演会を開催いたしました。今回はwithコロナの時でもあり、現地開催とZOOM参加のハイブリッド開催といたしました。現地参加は28名、ZOOM参加は35名、合計63名の先生方が参加してくださいました。本会は学12期の丸山優子先生が昭和63年に始められ、32年間続けられた「大阪医大女医会各科医療勉強会」を引き継ぎ、今回が第1回となります。本来は総会、講演会、懇親会を開催していましたが、今回は感染症対策として、懇親会は中止し、演台にはアクリル板を設置し、席は十分間隔をとり、スクール形式の配席とし、講演会中にお茶とお菓子の黙食といたしました。

物故者に黙祷を捧げた後、総会を開始いたしました。始めに会長挨拶をさせていただき、その後、丸山優子先生、今村喜久子先生に挨拶していただきました。第1回の総会ということで、総会においては会則や役員人事を協議しましたが、全員一致で承認されました。役員は以下のように承認いただき今後の会の運営を担当させて



丸山優子先生



今村喜久子先生



神吉佐智子先生



いただきます。

続いて学48期の大阪医科薬科大学胸部外科講師の神吉佐智子先生が「働き盛りの命を奪う大動脈解離～みんなが知って救える命～」と題して講演してくださいました。種々の遺伝性結合組織疾患は若年期に大動脈解離・破裂を招く疾患ですが、未だ有効な治療薬もないため確実に生命予後を改善するには解離発症前の適切な時期に手術介入する必要があります。そのためには専門医での大動脈サーベイランスと家族のスクリーニングが重要です。2019年12月に制定された「脳卒中・循環器病対策基本法」の法の下、大動脈疾患の一般国民や医療従事者への啓発、救急医療、搬送体制、診療体制の構築によって、国民一人一人が安心して暮らせる体制が整備されることを期待すると結ばれました。

約2年間かけて準備し、やっと総会開催にこぎつきました。今回の総会ならびに講演会の様子は当会のホームページの会員のページでご覧いただけます。今後も、毎年1回の総会を中心に、様々な企画を交え会員相互の懇親を図っていただける会に育てていきたいと考えていますので、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



福本敏子先生

大阪医科薬科大学 女性医師の会 メールアドレスご登録のお願い

女性会員の先生方におかれましてはお元気にお過ごしでしょうか。本学の女性の同窓生は1,200名を超え、皆さま各地で様々な立場でご活動されています。本会は、仁泉会の女性会員すべての先生方、他学卒業であってもご縁があって本学でご勤務経験のある女性の先生方にご参加いただける会として発足いたしました。昭和63年に始まった大阪医大女医会各科医療勉強会は、今後は当会の年次会合として開催させていただきます。皆さまと専門分野や年代を超えて医学の最新情報に触れ、交流と絆を深めたいと考えています。

本会からのお知らせは、隔月発行の「大阪医科薬科大学仁泉会ニュース」や仁泉会ホームページへの掲載と共にメールでも配信させていただきます。この機会に仁泉会女性会員の皆さまに下記の通りメールアドレスのご登録をお願い申し上げます。

メールが差し戻される事例が発生しております。メールアドレスのご変更を希望される場合やメールが届いていない場合には、下記アドレスまでメールでご連絡いただけますと幸いです。

メールアドレスのご登録

仁泉会内女医会メールアドレス：omc-women@jinsenkai.net

上記アドレスまで①氏名（本学在学中の旧姓） ②卒業年度もしくは学期 ③メールアドレス をお送りください。

お手数をおかけしますが、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

※迷惑メール対策を取られている先生におかれましては「jinsenkai.net」ドメインからの受信を「許可」にご設定いただきますようお願い申し上げます。

会長：福本敏子（学24）
連絡先：仁泉会事務局
担当：天野
TEL：072-682-6166
E-mail：jimu@jinsenkai.net（仁泉会）

役員一覧

監事	丸山優子	学12	副会長	丸川恭子	学32	役員	相馬葉子	学38
監事	今村喜久子	学17	役員	辻口比登美	学33	役員	湊 恵美	学41
会長	福本敏子	学24	役員	馬詰ひとみ	学36	役員	松村洋子	学46
副会長	森田利江	学28	役員	森信若葉	学38	役員	神吉佐智子	学48

学会報告 ● ● ●

第123回 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 における特別講演のご報告

文責／寺田哲也（学41期）

2022年5月26日～28日に神戸で開催された第123回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会において、河田了教授が特別講演を行いました。本講演は大学を含む全国の医育基幹病院において優れた業績を有する施設のみが発表の機会を得ることが出来る非常に名誉ある特別講演であります。

令和3年に学会名称が耳鼻咽喉科学会から耳鼻咽喉科頭頸部外科学会と変更されました。当教室では、特に河田先生が京都府立医科大学から赴任された22年前より頭頸部腫瘍診療にも重点を置き、教室における頭頸部腫瘍領域の診療は加速度的に進化を遂げてまいりました。特に耳下腺腫瘍の診断と治療において、現在では全国で最も症例数の多い施設となり、その結果として今回の特別講演のご指名をいただけたものと思っております。

当教室のメインテーマである耳下腺腫瘍について、『耳下腺腫瘍の臨床—体系的な診断・治療から得た新知見と将来展望』と題した約1時間の特別講演が行われました。慣例として講演に関するモノグラフの作成が求められていますがその



モノグラフは347ページに及び、22年間の耳下腺腫瘍に関する臨床データをまとめ上げたものになりました。全国から多数の患者さんのご紹介をいただき約1500例もの症例を集積できた結果、多くの学会で発表し、さらには耳下腺腫瘍に関わる英文原著も42編に達しました。河田教授を中心として、教室員一同で積み重ねた貴重な臨床的データをまとめ、臨床講演として発表できたことに安堵しております。

本講演では、10項目に分けて耳下腺腫瘍の体系的診断と治療について述べられました。耳下腺腫瘍の疫学、病理、症状、診断、手術術式、術後合併症、生存率、治療方針、バイオマーカー、将来展望について丁寧にわかりやすく講演されました。

河田教授が講演で述べられたように、耳下腺腫瘍はさまざまな特性を有し、学問的にも非常に興味深い腫瘍といえます。具体的には、病理組織学的に多彩であること、悪性腫瘍の症例の頻度は少なくその集積が難しいこと、一方良性腫瘍は比較的多く、より安全・確実な手術が求められること、耳下腺内に顔面神経が走行することなどが特徴となります。このような特徴を有する耳下腺腫瘍に対して、体系的に取り組んだ同一施設での臨床研究の重要性を強調されていました。

また、耳下腺癌に対する手術治療を計画する際には、顔面神経の取り扱いが極めて重要な問題となり、その手術方針を立てる際の術前診断として、穿刺吸引細胞診の重要性を述べられました。良性、悪性だけの区分ではなく、悪性度から組織型に至るまでの情報を穿刺吸引細胞診から得られることがわかり、従来の細胞診分類とは大きく異なる、新しい細胞診分類試案（OMC分類）も発表され、耳下腺腫瘍の診断と治療精度の向上に繋がるインパクトの強い情報発信になったと思われま

す。講演の最後には、河田先生御自身が薫陶をうけた恩師にあたる先生への感謝のお言葉、院内の共同研究者への謝辞を述べられ、また私たち教室員への労いの言葉もいただきました。関連病院、大学所属の医局員を合わせた共同研究者は47人になります。決して大所帯とは言えない耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室ではありますが、全国に発信しうる特別講演を行えた理由は、河田教授の強力なリーダーシップと大学内の関係部署の先生方のご協力、耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来および病棟のスタッフの努力に他なりません。また、私たち耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室に対する有形無形の一方ならぬご支援を頂戴しました仁泉会会員の皆様から心から感謝申し上げます。

そして、耳下腺腫瘍、とりわけ自身の生命を当科に委ね闘病努力を惜しまなかった耳下腺癌患者さんひとりひとりに対する感謝と尊敬の気持ちを私たちは持ち続けています。感謝の意を心から申し上げたいと思います。



特別寄稿

うちの医師会、ここが自慢（うり）

文責／右京医師会会長
寺村和久（学37期）

新型コロナウイルス感染訪問診療協力機関が現場の医療逼迫を軽減させる右京医師会の新たな取り組み

すでに第7波が始まり、第6波よりもかなりの早いスピードで感染がひろがっています。京都市右京区の右京医師会では、第6波での取り組み、経験をいかし、第7波での医療崩壊を避けるべく、対応しています。前回の第6波（令和4年2月がピーク）で右京医師会が取り組んだ内容を記します。

京都市において、軽症から中等症在宅コロナ患者の訪問診療を担う、訪問診療等協力機関へ登録いただいた先生方は、右京医師会においては、本年3月現在、20医療機関あり、京都市内地区医師会の中では、ずば抜けて多い。右京医師会では、デルタ株が落ち着いた昨年12月から、下記問題点を列挙し、来るべき第6波に備えました。

重症コロナ患者をKISA2隊がカバーしてくださっており、彼らに更なる負荷をかけないためには、各地区の医師会員が、せめて自分の地区の在宅コロナ患者の訪問診療をすることで、病院への負荷、KISA2隊への負荷を軽減し、何よりも在宅患者の不安の解消につなげることが出来ます。

【問題点】

- 在宅コロナ患者を診察するにあたりハードルが高い理由
- ①防護服着用で訪問診療をすると着脱だけで時間がかかる
 - ②コロナに医師が感染し、自院スタッフ・外来患者に感染させる危険性
 - ③外来診療・発熱外来・ワクチン接種・コロナ以外の患者の訪問診療など、開業医に更なる訪問診療をする時間がない
 - ④急変時、特に外来診療中や夜間など、対応困難
 - ⑤内科系の医師以外で担当するのは難しい

【解決策】

- ①右京医師会は訪問看護ステーションを有し、勤務体制を考えて当番制で夜勤担当をお願いしていることから、医師がすぐに対応できなくても、看護師さんにま

ずは対応していただくことが可能。開業医が外来診療中も同様に、まずは看護師さんに患者さんのもとへ行っていただき、状況の連絡を受ける形がとれる。

②状態が安定していれば、電話での状態観察で良く、実際にレッドゾーンに入る訪問診療の回数を減らすことで自身・自院スタッフ・自院の患者さんへの感染の機会が少なくなるが、ただ、コロナ在宅患者の不安を払拭するには、お互い顔の見えるコミュニケーションが必要。実際に今回対応した患者さんからは、1人でいる不安は計り知れず、医師や看護師の顔をみてコミュニケーションを図る、それだけでかなり安心したとおっしゃる方が多い。医師も患者の状態を、画で診ることができ、状態の変化がわかりやすい。電話では数字の確認（酸素飽和度や体温等）はできるが、呼吸数を含めた呼吸状態の把握や表情等の確認がしづらく、画像でのチェックにはテレビ電話等の導入が必要。また、内科系以外の医師が参加し訪問診療等協力機関を増やすには、内科医との連絡がすぐにとれることが必要。それにより機を逸することなく適切な医療の提供が可能。

この上記2点の解決策として、ICTを活用し、タブレットで患者、医師、看護師が対応できる体制が考えられる。このタブレットは、ZOOMやTEAMS、Webexのように、数人、同じ画像を共有でき、患者と医師、患者と看護師、あるいは3者が治療に関するコミュニケーションをリアルタイムで図ることができる。

右京医師会では、本年2月中旬よりこのシステムを導入し、非常にスムーズにコロナ在宅患者への対応ができました。タブレットを使用することで、コロナ在宅患者への対応が容易となり、かつ、患者の不安も払拭できることを実感しています。このような体制が広がることで、病院やKISA2隊への負荷が軽減されると確信していますし、この第6波の経験が、今の第7波に十分生かされており、右京医師会の開業医の多くの先生の協力が得られていること、いわゆる「チーム右京」としてのモチベーションの高さ、これは十分、「うり」に値します。この我々の取り組みは、MBS毎日放送で3月31日、よんちゃんTV特集「開業医のコロナ往診 医療ひっ迫防ぐために」という形で放映されました。YouTubeや、右京医師会のホームページからご覧になれます。

<https://www.mbs.jp/news/feature/kansai/article/2022/04/088350.shtml>

令和4年7月18日記

開業しました!



富田誠司先生

宝塚市出身
高槻高等学校卒業 39期
大阪医科大学卒業(学43期)
2020年2月、高槻市にてとみた整形外科クリニックを開院
在学中のクラブ活動 / バスケ
ケットボール部
趣味 スポーツ観戦 釣り

自己紹介をお願いします

光栄なことに寄稿の機会を頂戴致しましたので、当院のご紹介をさせていただきます。1994年大阪医科大学卒業の富田誠司と申します。学生時代はバスケットボール部に所属しておりました。私が所属していた頃のバスケット部は両親が医師でない先輩が多く、その多くが整形外科に入局されており、私も先輩にお誘い頂き、整形外科に入局いたしました。大学で研修後、関連病院を回り、再び大学に戻りました。大学では脊椎脊髄外科を専門とし、大学院では骨粗鬆症性圧迫骨折の生体力学的な研究を行い、米国ジョンズホプキンス大学に留学しました。学位取得の後、大学病院へ戻り、その後は大阪府済生会茨木病院に出向し、脊椎脊髄疾患の治療に当たってきました。

50歳を超えて、今まで携わってきた治療を自分のクリニックでしながら、提携病院で手術を続けられないか、と考えてまいりました。最終勤務地である済生会茨木病院の近くに良いテナントがないか探しておりましたが、自分の思っている場所に見つからず、そうこうするうちに開業幹旋会社から、JR高槻駅近くのジオタワーの中いくつかのクリニックが入っていて整形外科を探しているテナントがある、というのを聞き、熟慮の末に令和2年2月1日に高槻高校、大学、大学院、大学病院時代を過ごした高槻で整形外科クリニックを開業しました。場所はJR高槻北口から高槻病院に向かう連絡通路を左に曲がったところにあるジオタワーの3F(通路と同じフロア)で、UFJ銀行の隣です。

高槻で開業して良かったと思う点はやはり母校や関連病院に近いことです。勤務医時代の仕事は脊椎疾患の治療がほとんどでしたので、他の分野については困った症例があれば大学や近隣の関連病院の各分野のスペシャリストに気軽にご相談できることは最大のメリットです。年齢的にも各病院の部長クラスの先生と学年が近く、気心が知れている人が多いのも色々とお願しやすい理由の一つです。また、独居老人の圧迫骨折のような社会的入院にも対応して頂いたり、手術が必要な外傷などを速やかに手術して退院後は当院でのリハビリにスムーズに移行して頂けることはとても本当に有難く、病診連携の有難さを実感しております。

クリニックの特徴を教えてください

当院では一般整形外科、骨粗鬆症、スポーツ整形外科、リウマチ、リハビリテーションと整形外科全般の治療を行っています。なかでも今まで専門分野としてきた脊椎脊髄疾患、特に腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症については特に力を入れており、手術が必要な患者様については常勤医の先生方のご協力のもと提携病院でさせて頂いております。勤務医時代は手術を中心とした治療をしてきましたが、開業してからは初診時から保存療法に十分な時間をかけられることが大きく変わった点です。今までは躊躇なく手術していたような患者様でも時間をかけて徹底した保存療法を行えば症状が改善し、手術を回避できることも少なくないことを学びました。保存療法に抵抗し、手術を必要とする患者様に対しても、より低侵襲な手術を心がけていきたいと思っております。

コロナ禍でのご開業について

この原稿を書かせて頂いている令和4年7月末現在、第7波が押し寄せてきており、感染者も連日最高記録が出ており、大阪では1日2万人越え、全国では20万人を超えてきております。2020年秋に整形外科の同門会報に寄稿した文章を読み返してみると、開業してわずか2か月後の4/7に1回目の緊急事態宣言が発出され、人との接触を80%減らせ、ステイホームなどのキャンペーンが行われ、第2波がいつ来るともわからず、いつまでも安心できません、と書いていますが、それがもう第7波です。コロナが猛威を振るい、3回目の夏を迎えています。いつまで続くかわかりませんが、コロナワクチン接種など、地域医療のために出来る限りのご協力をさせて頂きたい

と思っております。

コロナ禍で唯一良かったと思うことは、学会や研究会のオンライン開催です。開業したらなかなか学会に行けないと諦めておりましたが、日時が決まっている講演以外はいつでもどこでも拝聴できるオンデマンド配信は開業医にとってとても有難く、時間を見つけて幅広い分野について勉強しようと思っております。コロナが収束しても、ハイブリッド開催を続けて頂ければ有難いと思っておりますが、現地での学会参加は普段会えない人たちと旧交を温める大事な場ですので、一日も早くコロナが収束し、学会にも気軽に参加できるようになればと願っております。

以上、開業のご報告をさせて頂きました。これからも近隣の先生方にお世話になりながら、地域医療に少しでも貢献できるよう、微力ながら努力してまいりたいと思っております。今後ともご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。最後になりましたが、このような寄稿の機会を与えて頂きました仁泉会の先生方、事務局の皆様様に深謝申し上げます。



とみた整形外科クリニックのご紹介

- 診療科目
整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
- 所在地
大阪府高槻市白梅町4-13
ジオ高槻ミュージアムEX 3F
- 電話
072-691-1150
- 診療時間
午前診 8:30~12:00
夜間診 16:00~19:00
休診日 木曜・土曜午後・日曜・祝日



ご開業の際は 編集部にお知らせください

新規でご開業された会員諸先生方がおられましたら
事務局までお知らせください。(自薦・他薦は問いません)

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net



井元恵津子先生
 平成15年卒
 (学52期)
 出身地 岐阜県
 在学中の所属部活/弓道部
 5児の母

自己紹介とクリニックの特色を教えてください

高槻市西冠にあるしらかわクリニックを2020年10月に承継し、しらかわ・いもとクリニックとしてスタートいたしました。

前身の白川先生は在宅医療に献身されており、地域密着型の訪問診療を多数実践されておられました。病院勤務の頃に、白川先生の患者様を往診させていただいていたなどの経緯からの御縁でした。

学生の頃から地域や在宅医療に興味はありましたが、子育てで非常勤勤務が主だった私が在宅医療に携わることができるとは数年前まで夢にも思いませんでした。

白川先生のもとで在宅医療の勉強をご指導いただき、また子育てしながらでも十分できる環境を整えていただくことで、現在100名ほどの患者様の訪問診療を行っております。

認知症、歩行困難、がん、難病など様々な理由で通院困難な患者様を診させていただいていますが、どの方も様々な生活背景を持っておられ、そこまで踏み込まないと診療が成り立たないケースも少なくありません。そのためには医療・介護の連携、真の多職種連携が必要であり、医療だけでは患者様を救うことはできない、と痛感します。波乱万丈な毎日、日々変化に満ちており、充実した毎日です。診療において在宅で対応困難な場合、仁泉会同門の先生方に大学病院を始め、多くの近隣病院で患者様を受け入れていただき、また在宅に帰していただけることを本当に感謝申し上げます。

24時間対応の在宅支援診療所でありながら、家に帰れば家事・育児に追われていますが、クリニックのスタッフや共に患者様を支えてくださる訪問看護ステーションなどのおかげで、負担感も大きくなく仕事できています。

クリニックには長年地域医療、在宅医療に携わってきたベテランスタッフがおり、病院では得難い知識や経験が豊富で、とても勉強になり大きな助けとなっております。

現在は内科全般をしておりますが、大学卒業後はリハビリテーション科医師として専門医も取らせていただきました。現在も嚙下についての勉強のためにリハビリテーション医学教室でお世話になっております。在宅では嚙下をはじめリハ的なノウハウが役立つ場であると感じます。

最後に仁泉会の先生方へ一言お願いします

まだまだ若輩者ですが、できる限り地域医療に尽力してまいりたいと思いますので、今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

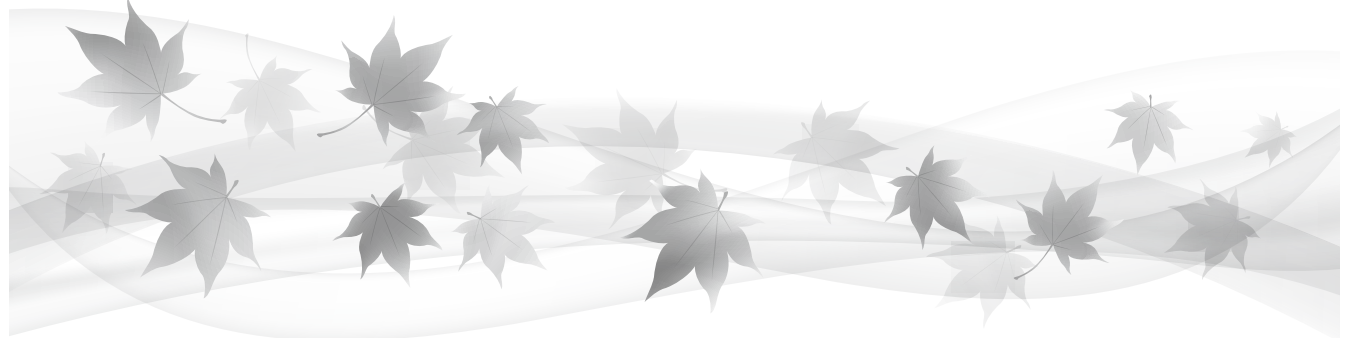
しらかわ・いもとクリニックのご紹介

- 診療案内
24時間・365日体制在宅療養支援診療所
- 診療科目
在宅療養 外来 (内科・検診・予防接種)
- 所在地
大阪府高槻市西冠3-12-17
- 電話
072-670-6780
- 診療時間
午前診 9:00~12:00
夜間診 16:00~18:00
休診日 火・木夜間診 土曜日、日曜日、祝日



開業しました!
印藤直彦先生 (学56期)
 名称 印藤内科クリニック
 住所 〒761-0104 香川県高松市高松町 3006-7
 電話 087-816-1800
 FAX 087-816-1801
 診療科目 内科、消化器内科
 診療時間 午前 9:00~12:00
 午後 15:00~18:00
 休診日 水曜午後、日曜、祝日
<https://www.takamatsu-icamera-imc.com>

開業しました!
斎藤明菜先生 (学60期)
 名称 医療法人社団 斎藤内科
 住所 〒665-0034 兵庫県宝塚市小林 5-4-43
 電話 0797-71-6515
 FAX 0797-71-6556
 診療科目 ①内科、循環器内科、脳神経内科
 ②外科、乳腺外科、消化器外科、肛門外科
 診療時間 ①9:00~12:00、16:00~19:00
 ②9:30~11:30、12:00~15:00
 休診日 木曜、土曜午後、日曜、祝日
 新規リニューアル開業は令和5年以降になります。



原稿募集

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定されているクラス会や支部会などが中止若しくは延期を余儀なくされ、原稿が大幅に減っております。ご多忙とは存じますがテーマ、題材を問わず広く原稿を募集いたします。ご寄稿お待ちしております。

例：新型コロナウイルス感染症に対する日々の取組み、診察対応など近況報告等

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
 e-mail / jim@jinsenkai.net

クラス会だより

49杯ゴルフコンペ報告

文責／竹中正純（学23期）

「老いたから遊ばなくなるのではない。遊ばないから老いるのだ」パーナード・ショー。

「ゴルフをしなさい。10年長生きできます」城山三郎。これらの言葉に触発され、同窓ゴルフコンペを細々と続けています。

最近では7～8名集まるのがやっとでコンペというには程遠い状況です。4～5年前より私が世話役を続けていますが、毎回参加者集めには大変苦勞しています。49杯の歴史は古く今回第80回目で、好天の5月15日（日）瀬田ゴルフ北コースで開催致しました。

参加者は明石、梶野、假野、櫻本、中田、安井君と梶野夫人、そして私竹中の8名でした。今回の成績（ダブルペリア）は1位竹中、2位明石君、3位中田君で4位以下は個人の名誉もあり省略いたします。私から見た同輩の寸評を、独断、そしてなるべく好評を主に紹介します。

明石君 49杯実力No. 1。今回不調なるも2位キープ、いつもベスグロ。

梶野君 趣味はヨットと俳句とか。付き合いゴルフで

夫人の方がゴルフは一枚上。
假野君 大学役職で多忙ながらの参加。アプローチ、ショートゲームがうまい。
櫻本君 10数キロのダイエットに成功、すっきり体型で飛距離アップ。ドラコン獲得。
私竹中 イチロー見習い暇あればストレッチ。その恩恵かドライバーもそこそこ飛ぶ。
中田君 スイングスピード速くアスリート系ゴルフ。今後益々上達か、潜在能力が高い。
安井君 福井より毎回参加。フェアウエーウッド、アプローチ、パットがなかなか上手。

今後何とか第100回までコンペを続けたいと思いますが、現在春と秋の年2回の開催ですから後10年はかかる計算になります。その為には、日々健康に留意し、ウォーキングやストレッチ等を心がけていただきたいと思います。

尚、次回秋の49杯は假野君の御尽力で、11月3日（祭日）名門西宮CCを3組予約しています。阪神地区にお住まいの方はぜひご参加ください。

また来春、卒後五十周年の前年ですが、春の49杯前日に気楽なクラス会を京都で行う予定との連絡がクラス代表の梶野君よりありました。この3年、コロナ禍で同窓生が集う機会も無く淋しい毎日でしたが、これからは大いに会う機会を持ち、楽しい日々を過ごしましょう。またご連絡いたしますが、皆様の顔を見られることを今から楽しみにしています。



仁泉ひろば

jinsen-park

成句（1）

文責／西村 保（学4期）

「成句」とは（1）古人の作った句で、良く知られているもの、例えば「人間、到る所に青山あり」の類。（2）二語以上の結びつきが習慣的に固定し、ある決まった意味を表す句、例えば「腹を割る」「目が高い」の類である。

豚に真珠

マタイによる福音書七章には「聖なるものを犬にやるな。豚に真珠を投げてやるな・・・」と書かれている。つまり、価値の分からない者には貴重なものも役に立たないという意味である。

月とスッポン

昔、スッポンをマル（丸）を云った地方があった。つまり、丸いことでは月もスッポンもよく似ているが、実際は天と地ほどの差がある。それは二つのものが、かけ離れていることのたとえとなったのである。

ウドの大木

大きくなりすぎたウドは、食用にならないばかりでなく、木材として役に立たないことから、大きくても何の役にも立たないことのたとえである。

割れ鍋にとじ蓋

こわれた鍋にも、それにピッタリ合う蓋があるというたとえである。つまり、レベルの低いところや、欠点があるところでバランスが取れている仲、似た者どうしのカップルのことを云う。

どんぐりの背くらべ

どんぐりは、形や大きさがほぼ同じであることから甲乙つけ難いことを意味する。どちらかと云えば「全員、どんぐりの背くらべだ」と云うように悪く云う場合が多い。

鶴の一声

鶴の声は非常に甲高い声で遠くまでひびくので、ま

わりが一瞬シーンと静まることから、誰もが従うような実力者や権力者の発言を云う。

どこの馬の骨だか分からない

馬の骨は大きいだけで何の役にも立たないことから、誰からも必要とされず、素性も分からず、付き合いに値しない、むしろ邪魔になる者のことを云う。

〇〇もヘチマもあるものか

〇〇にはつまらないもの、何の役にも立たないといった意味の語が入る。それと食用にならないヘチマが並べられたのである。

からすの行水

からすの行水は、まず羽を水にぬらして羽を整えるだけであることから、ごく短時間で事が終わることを意味する。

三日坊主

もともと日本では「三日天下」とか「三日にあげず」とか云うように、短い期間を「三日」という日数で表現してきた。

昔は、商売で失敗した時や、人間関係に疲れた時などで、仏門に逃げこむ人が多かったが、そういう気持ちで仏につかえても、すぐに俗世間が恋しくなってしまう事から、あきやすく長続きしない人を三日坊主と呼ぶようになったのである。



仁泉ひろば

jinsen-park

生物学とクラミジアの事

文責／岡野 准 (学 21 期)

脳梗塞で左片麻痺になり職も失いましたが、勉強位しないとと思い、細菌とウイルスについて学びなおそうと思い色々調べました。

調べてびっくり生物学が根底から変わっていました。小生が50年程前に生物学を学んだころには、生物は動物と植物にだけ分けられていました。動物とは細胞が細胞膜（原形質膜と呼んだと思います）で包まれ動いて捕食する生物であり、植物は細胞膜の外側に更に細胞壁を有する生物で海藻も茸・カビも細菌も植物に分類されていました。その後の研究によりどうもおかしいという事になり2012年に大幅に訂正されてしまいました。

先ず界の上にドメインが設けられ細胞に核を持つ生物を真核生物とし、細胞に核が無い生物は原核生物としています。真核生物には動物（細胞膜しか有せず動いて他の生物を捕食するもの：捕食栄養生物）と植物（水と炭酸ガスと光が有れば自らエネルギーを作り出せるもの：独立栄養生物）と菌類（死んだ生物を覆って栄養を取るもの：腐生栄養生物）と動物・植物・菌類に属さない真核生物は原生生物として分けられています。原核生物には細胞核を持たない細菌類と古細菌類が含まれています。

これにより、海藻は葉緑素を持ち炭酸同化作用をする独立栄養生物ですが細胞膜の外側に多糖類による細胞壁を有し動物にも植物にも菌類にも属せず原生生物になってしまい、茸・カビは細胞膜の外側にキチン質による細胞壁を有し腐生栄養であることから菌類になりましたし、細菌は核を持たない原核生物として全く別の枠に入ってしまった。

細菌はヒトに対する病原性のあるものが有ります。グラム染色は細菌を見分けるために開発された染色法で、グラム陽性細菌類は細胞膜の外側にペプチドグリカンの細胞壁を持ち、グラム陽性では青っぽく染まって見えます。グラム陰性では薄いペプチドグリカン層の外更に外側に脂質による細胞壁（毒性のある部分があり内毒素 [Endotoxin] と呼ばれます）が有り、グラム陰性細菌はグラム染色では赤っぽく染まって見えます。も

う一つの原核生物ドメインの古細菌は高温や深海などの高圧下あるいは普通の生物が住めそうにない高濃度塩水等の極限状態の環境に好んで生息し、病原性は有りません。何れにも例外が有りますが大まかにはこうなります。

細菌もグラム陽性・陰性の分類だけでなく形態的に桿菌・球菌・螺旋菌の別が有り、スピロヘータが螺旋菌の一部で、大半は土壌中に多種類おり病原性のあるのはトレポネーマ・パリドゥムだけで梅毒の病原になっている事を知りました。ところで、クラミジアについてですが、発行日 1952 年11月10日の皮膚泌尿器科学の教科書には第四性病について『淋疾，梅毒，軟性下疳に次ぐ性病として，鼠蹊淋巴肉芽腫（症）—第四性病が挙げられる。本症は一種の Virus 病であって，頑固なそけい淋巴腺炎即ち横痃を主症状とするが，その晩発症として，とくに女子に於て屢々慢性陰部潰瘍その他の陰部肛門直腸症状群を呈するものとして知られている。本症が一般の注目を惹くにいたつたのは最近1/4世紀のことであるが，欧州の古い文献によれば，中世紀或はそれ以前から既に存在していたことが伺われる。南方との交通の繁しい港灣地区やその方面に航海する船員などに濃厚に認められ，熱帯性疾患とされているが，それ以外の地方にも散在性に認められた。気候性横痃，ストルーマ様横痃と呼ばれたもの、多くがそれである。』と、記載が有ります。第四性病は Chlamydia trachomatis (以前は宮川小体と呼ばれました) による鼠蹊リンパ肉芽腫（症）の事で現在は殆ど見受けられない疾病ですが、光学顕微鏡で観察出来ないものをどうやって発見したのか、すごいなと思います。1952年は昭和27年ですが当時はクラミジア性疾患がウイルス病と思われていたのですね。

クラミジアは直径0.3 μ m の球形の細菌で1属4種が知られています。オウム病を引き起こす Chlamydia Psittaci, クラミジア肺炎を引き起こす Chlamydia Pneumoniae, STD 及びトラコーマ眼炎の原因である Chlamydia Trachomatis、コアアに致命的な疾病を引き起こす Chlamydia Pecolun の4種類です。今は殆ど見られなくなった第四性病（鼠蹊リンパ肉芽腫症）は、他の STD (Sexually Transmitted Disease) も引き起こす C. Trachomatis によると考えられています。ところで、クラミジアは直径 0.3 μ m と細菌としては極端に小さくて光学顕微鏡では観察できませんので、グラム染色するのはあまり意味が有りませんが、膜の構造上はグラム陰性といえるようです。クラミジアは、ウイルスとは異な

り DNA も RNA も持っています。ウイルスは遺伝子として DNA または RNA のどちらかしかなく生きた細胞内に取り込まれて初めて増殖活動をするのですが、この増殖の方法は「偏性細胞内寄生」と呼ばれています。クラミジアはウイルスと同様に生きた細胞内に入り込んでからでないと増殖できません。これは小さすぎて単独で生命活動をするのに必要な物質或いは装置を納めきれなかったためと考えられているようです。細菌なのにウイルスのような生活環をしているのですね。「偏性細胞内寄生」をする事で、かつてはウイルスと考えられたのでしょうか。小生には驚きの連続でしたが、『知っている』等と思わず常に勉強していかないと、時代に取り残されるとつくづく思いました。



支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimujinsenkai.net

広告募集！

仁泉会ニュースでは、広告の募集もしております。ご出稿のタイミングや料金などは事務局までお問い合わせください。

TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimujinsenkai.net

仁泉ひろば

jinsen-park

あの頃の未来予想図

文責／小嶋昭次郎（学29期）

昭和49年(1974)の春、一浪して大阪医大に入学しました。その頃も医学部受験は大変な難関で、一浪するのは当たり前で「一浪、ヒトナミ」と言われていました。私たち同期も現役から数浪まで入りまじり、平均2浪を超える状況でした。そんななか入学してしばらくして、生年月日が全く同じ(昭和29年4月14日)同級生が私を含めて3名いることに気づきました。一学年100名ほどでしたから、全員現役合格者でも誕生日は三日に一回の割合になるのに、まして平均2浪、なんと奇遇な出会いかとお互い驚いたものでした。

さて、その三人ですが性格は全く異なるものでした。私はエネルギーに何事にもガンガン進んで行き、時には道からはみ出してしまような性格です。もう一人は、発想が豊かで凡人がついて行きにくい、どこか宇宙人のような性格でした。最後の一人は物静かで誰にも優しく、誰からも信頼される学究肌の人物でした。私はこの二人と出会ってからは星占いや干支による運勢占いなどは全く信じられなくなりました。この三人の“未来予想図”はきっとまったく異なるものになるに違いないと思ったからです。私はブルドーザーのように荒地を耕しながら突き進み、“宇宙人”はいろんな訳のわからない種を蒔き、“学究肌”は細かく観察しながら確実に収穫する。そんな絵が浮かんでくるようでした。

卒業して、私は地元の岐阜に戻り循環器内科医となりました。二年目に大阪医大の同級生と結婚し、平成4年の12月にその妻を院長として内科のクリニックを開業しました。私は第41回(新進党公認)と42回(民主党公認)の衆議院選挙に立候補しましたが、保守王国岐阜の壁は厚く自民党候補者に敗れました。その後は妻と地域医療に携わっています。

“宇宙人”は外科医としてのキャリアを積み重ねたのち、親が開設している病院の後継者となり頑張っているようです。

“学究肌”は卒後母校の基礎の教室に進み、やがて予想通り教授となりました。そして今、彼は大阪医科薬科大学の初代学長に就任されました。彼の名は「佐野浩一」君で我々同期生の誇りであります。

若き頃描いた三人の未来予想図はきっと思った通りに叶えられたのでしょうか！

事務局編集係

ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用していただきたいと思います。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
 - 「仁泉ひろば」のコーナー
 - 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
 - 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
 - 紹介したい店、場所、物など
 - 本誌に取り上げて欲しい話題
- 字数には制限は設けません。葉書1枚、便箋1枚でも結構です。
- 広告に関して
- 会員自身が出される広告は現在100字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。
- (内容により有料の場合があります)

冊子切抜

多岐一ステップ 充実する救急医療

SPECIAL Interview

1 高度な医療機能を備える 大学病院が担う「救急医療」

7月から三島医療圏(※)唯一の三次救急医療を担う大阪医科薬科大学病院。特定機能病院として高度な医療を提供する大学病院が新本館の建て替えで、より充実した医療体制を、市民の命を守る大学病院の取り組みが、この冊子に紹介されています。

(※)高槻市、高槻市、高槻市、高槻市



学校法人大阪医科薬科大学 理事長
植木 實
Minoru Ueki

13 | 2023年9月

多岐一ステップ 充実する救急医療

SPECIAL Interview

2 市民に身近な地域医療 健康で幸せな生活を守る

市民の健康増進と命を守る高槻市医師会、救急医療の充実など日々市民の皆さんの健康、生命を守るために活動しています。高槻市医師会(佐野浩一)に、取り組みが紹介されています。

高槻市医師会 会長
保田 浩
Hiroschi Yasuda

14 | 2023年9月

たかつきDAYS 令和4年7月号に植木 實先生(学12期) 保田 浩先生(学31期)の記事が掲載されました。

病院新本館の建て替え 高性能・最先端の超スマート医療へ

現在の本大学病院の建物は、主な5つの病棟が築40年以上となること、また当院の初期によりどの建物も高さが高いため、機能が建物ごとに分散し、患者さんやスタッフが建物間を移動しなければならず、いざ一つ利便性が高くなりませんでした。そのような中、令和9年に創立100周年を迎えるにあたり、記念事業として病棟の建て替え事業を進めています。すでに中央手術棟と最先端がん治療施設「関西BNCT(共同医療センター)」は完成し、高度治療が可能な施設として稼働しています。

そして7月に開院する新本館A棟は、この事業のメイン。1階には、三島医療圏の三次救急医療を担う「救急救急センター」が入り、重症・重篤な救急患者に対して即座に手厚い治療を行える設計になっています。また、感染症対策として専用エリアも設け、新型コロナウイルス感染症を含む全ての感染症に対応できるようにしています。

さらに、あらゆる高度な機能を上層に配置していて、専用エレベーターで迅速に移動できるため、非常に利便性が高くなっています。救急医療施設として万全の設備・機能を備えています。コンセプトは「超スマート医療(Super Smart Hospital)」。AIやロボットなど先端技術を活用した高度医療の提供のほか、病院の先進性(※)の向上、優秀な医療人材の育成など、患者さんやご家族、そしてスタッフに優しい医療を目指しています。

大阪府三島救命救急センターの救命救急センター機能を、本大学病院が引き継いだことは、三島医療圏における救急患者の最後の砦として責務を担うことを意味します。大阪府三島救命救急センターの初代所長の田邊治之先生が持つておられた「救急医療は医の原点である」「救急医療は公平であり、その享受するところが利便性、万人同じでなければならない」という理念をしっかりと受け継ぎながら、重症患者を積極的に受け入れ、救急治療を行います。今後とも行政や地域の医療機関と連携しながら、市民の皆さんの救命救急を含め、医療の一端の充実・向上を図ります。

(※)バイオフィリアという概念を取り入れ、自然と共あることで健康や幸せを得られる空間を目指す

優秀な人材育成を追求 「至誠仁術」の精神をもって

本大学病院には、常勤で約650名、非常勤で約270名の医師が勤務し、あらゆる分野の医療に携わ

っています。救急医療には約30名の医師が対応し、24時間365日、全ての診療科と連携しながら対応します。高度な専門治療が必要なときは、各科から専門医が治療に当たるよう、万全の体制を整えています。

また教育機関として、本大学は「至誠仁術」を学歴として扱っています。「至誠」とは、人が人間性を追い求めること誠実、篤実あるいは清廉性の境地に到達すると書かれており、そのような誠実・篤実性のある人物が救急医療を「仁術」と言います。この学歴に基づき、次代を担う優秀な医師、薬剤師、看護士などの医療人の育成を目指しています。

「救急医療は医の原点」 理念を受け継ぎ救命救急に尽力

大阪府三島救命救急センターの救命救急センター機能を、本大学病院が引き継いだことは、三島医療圏における救急患者の最後の砦として責務を担うことを意味します。大阪府三島救命救急センターの初代所長の田邊治之先生が持つておられた「救急医療は医の原点である」「救急医療は公平であり、その享受するところが利便性、万人同じでなければならない」という理念をしっかりと受け継ぎながら、重症患者を積極的に受け入れ、救急治療を行います。今後とも行政や地域の医療機関と連携しながら、市民の皆さんの救命救急を含め、医療の一端の充実・向上を図ります。

(※)バイオフィリアという概念を取り入れ、自然と共あることで健康や幸せを得られる空間を目指す

植木 實さん
大阪医科薬科大学卒業、同大学修士(医学博士)。同大助手、助教を経て、平成7年に教授。専門は救命救急医療。大阪医科薬科大学院、大阪医科大学を卒業。平成22年から学校法人大阪医科薬科大学理事長。平成25年から現職の学校法人大阪医科薬科大学理事長



地域に根差した医療体制を培う

高槻市には、公立病院がありませんが、それは、昔から医師会が中心となって、各医療機関の得意分野を生かし、医療体制を構築してきた歴史と関係していると考えています。当会では、全国に先駆けて医療機能が休診している夜間や休日に救急患者の対応を開始し、この取り組みが高槻市後援休日応急診療所の設立の契機になりました。現在でも救命救急所には医師会の会員が出陣していて、私も40年近く同診療所で初期救急に携わってきました。また、多くの会員と同様に、私も自身のクリニックを開設し、小児科医として日々診療をしながら、診療時間の合間に校医や地域健診などにも関わっています。高槻市医師会は、会員の専門分野を生かし、地域に根差した医療を培ってきたと自負しています。

日頃の健康状態を把握している 「かかりつけ医」を持つことが大切

人生100年と言われるこの時代、市民一人一人がより長く健康で過ごせるよう、医師会は行政とタッグを組んで、健康診断やがん検診の受診準備を整えています。特に高槻市では、がん検診の無料化のほか、ピロリ菌検査、内視鏡検査を導入するなど精度の高い検診体制を確保し、早期発見・治療につなげています。また、早期発見・治療には「かかりつけ医」を持つことが大切です。日頃の健康状態を把握している「かかりつけ医」は、ちょっとした体調の変化にも気づきやすく、的確な診断やアドバイスもできます。必要なときは専門の医師や医療機関も紹介してくれます。高槻には多くの病院や診療所がありますので、信頼できるドクターをぜひ見つけてください。

保田 浩さん
大阪医科薬科大学卒業、同大学修士(医学博士)。同大小児科医学教室を経て、平成7年「やすだクリニック」を開設。一部診療科だけでなく予防接種、乳がん検診、歯科、小児科、産婦人科など幅広く活躍。高槻市医師会理事・副会長を経て、令和4年6月から会長に就任



新聞切抜

© 2022/7/3 13:00 神戸新聞NEXT

テニス肘や疲労骨折…スポーツのけが、衝撃波で治療 県内の医療機関、導入進む

ツイート シェアする7

印刷



「体外衝撃波治療」を実施する中山潤一院長。奥にあるのが専用の治療器 = 明石市魚住町金ケ崎、中山クリニック

テニス肘や疲労骨折、足底腱膜炎（そくていけんまくえん）などのけがを対象にした「体外衝撃波治療」が、スポーツ選手の間で広がっている。痛みを取り除いてけがの回復を早める効果があり、早期の競技復帰に道を開く。兵庫県内の医療機関でも治療器の導入が進み、バスケットボールやサッカー、ゴルフなど幅広い競技の選手をサポートしている。（小尾絵生）

1980年代から尿路結石などを砕くために使われている衝撃波を活用。整形外科

領域では2012年に難治性の足底腱膜炎で保険適用となった比較的新しい治療法だ。元体操選手の内村航平さんが現役時代に靭帯（じんたい）を損傷した際、この治療を受けて注目を集めた。

衝撃波は音速を超えて伝わる圧力波。超音波エコー検査で炎症部の深さなど位置を特定してから、専用の機器で患部の皮膚の上から10分程度、照射する。痛みを伝える末梢（まつしょう）神経を破壊するとともに、周辺の血流が良くなることで組織の修復を早める作用があるとされる。

有効性は高く、同治療を受けた患者の8割程度が症状の改善を実感するという。照射時に一定程度の痛みがある以外は副作用はほぼなく、通院で治療ができるのもメリットだ。

国際衝撃波治療学会で有効性が認められている疾患は、足底腱膜炎のほかに、アキレス腱炎▽膝蓋（しつがい）腱炎（ジャンパー膝）▽上腕骨外側上顆（じょうわんこつがいそくじょうか）炎（テニス肘）▽疲労骨折▽偽（ぎ）関節—などスポーツ選手に多いけがが目立つ。国内で保険適用なのは足底腱膜炎のみで、同疾患以外は全額自己負担となる。

県内で先駆けて15年に治療器を導入した中山クリニック（明石市）でもスポーツ選手の患者が多い。疲労骨折で膝を治療中の社会人チームに所属するサッカー選手は、2回の通院治療で痛みが消えたという。通常は完治までに約3カ月を要するところを、半分程度に期間短縮できる見込みだ。

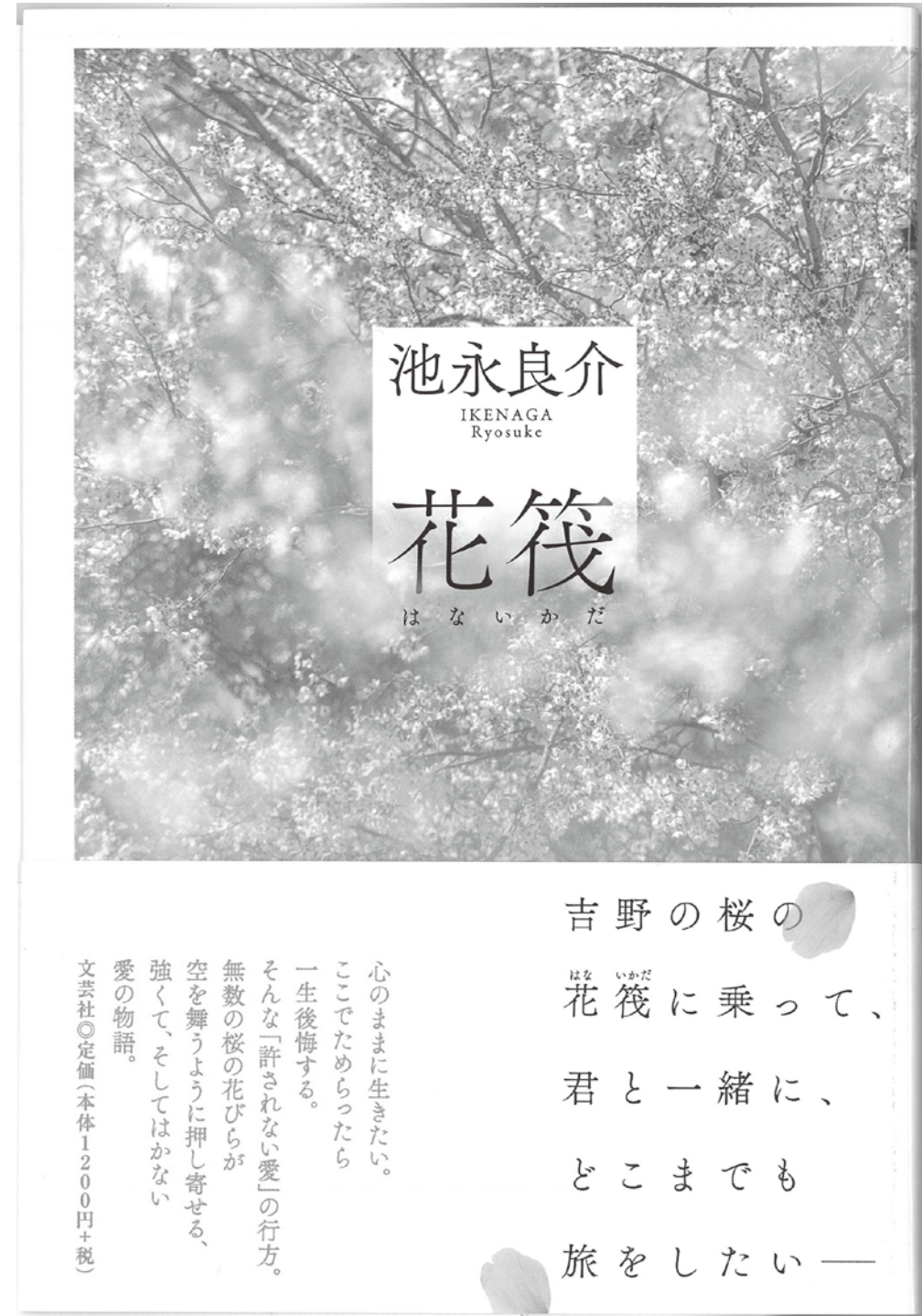
県内でも治療器を導入する医療機関が増えている。同クリニックでは患者の増加に対応するため、最新器を導入。現在は週約20件に対応する。運動系の部活動でけがをした高校生や市民ランナーの受診も多い。

中山潤一院長は「スポーツ選手にとっては早期復帰できるかは大きな問題。治療の選択肢として知ってもらえれば」と話している。

医療 明石

神戸新聞に中山潤一先生(学44期)が2022年7月3日に取材を受けられた体外衝撃波治療の記事が掲載されました。

会員著書



池永良介
IKENAGA
Ryosuke
花筏
はないかだ

吉野の桜の
花筏に乗って、
君と一緒に、
どこまでも
旅をしたい—

心そのままに生きたい。
ここでためらったら
一生後悔する。
そんな「許されない愛」の行方。
無数の桜の花びらが
空を舞うように押し寄せる、
強くて、そしてはかない
愛の物語。
文芸社◎定価(本体1200円+税)

花筏

著者：池永良介（井尻慎一郎先生 学31期）
出版社：株式会社文芸社
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-10-1
電話 03-536 9-3060

価格：¥1,320（税込）

会員著書

ワクチン筋注後の神経麻痺とSIRVAの予防と治療

井尻慎一郎 (井尻整形外科院長)

本コンテンツはハイブリッド版です。PDFだけでなくスマホでも読みやすいHTML版も併せてご利用いただけます。HTML版のご利用にあたっては、PDFデータダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要ですが、シリアルナンバー付のメールはご購入から3営業日以内にお送りいたします。

1 ワクチンの接種法	p3
2 有害事象・副反応(副作用)とは	p4
3 ワクチンの副反応	p4
4 当院スタッフにおける新型コロナウイルスワクチンの副反応	p5
5 注射手技に伴う損傷を回避するには	p7
6 ワクチン接種に関連した肩関節障害(SIRVA)	p22
7 腋窩神経損傷	p27
8 橈骨神経損傷	p33
9 症例紹介	p39
おわりに	p45

▶HTML版を読む

▶Webコンテンツを閲覧

©日本医事新報社2022 著作権法上での例外を除き、無断複製・転載は禁じられています

新刊本のご紹介

安藤嗣彦 (学 20 期)

神戸仁泉会所属の学31期井尻慎一郎先生が、この度日本医事新報の別報「ワクチン筋注後の神経麻痺とSIRVAの予防と治療」を出版されました。

先生はこれまでも整形外科専門医として多数の論文を医事新報に投稿されています。今回の投稿内容は2019年12月21日発行の週刊日本医事新報 No.4991 号 P55～56の「予防注射で発生したと考えられる橈骨神経障害による指尖のしびれ感」という読者からの質問の Q&A が発端です。その内容がネットで掲載され、アクセス数が多く、改めて医事新報社からの依頼に基づき作成された論文です。

特に現在オミクロン株変異の Ba5ウイルスが猛威をふるっている現在、臨床医に日常の業務であるワクチン接種の機会が益々多くなると思います。ご一読下さい。

筆者からのメッセージ

2022年6月24日に日本医事新報社から私が執筆した、電子コンテンツ「ワクチン筋注後の神経麻痺とSIRVAの予防と治療」が発売されました。

<https://www.jmedj.co.jp/premium/vimi/>

https://www.jmedj.co.jp/files/premium_blog/vimi/vimi_sample.pdf

(立ち読みPDF)

- 1：ワクチンの接種法
- 2：有害事象・副反応(副作用)とは
- 3：ワクチンの副反応
- 4：当院スタッフにおける新型コロナウイルスワクチンの副反応
- 5：注射手技に伴う損傷を回避するには
- 6：ワクチン接種に関連した肩関節障害 (SIRVA)
- 7：腋窩神経損傷
- 8：橈骨神経損傷
- 9：症例紹介

メディア掲載・書籍発行の際は編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。(自薦・他薦は問いません)

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net

2019年12月21日発行の週刊日本医事新報 No. 4991. p55-6. において「予防接種で発生したと考えられる橈骨神経障害による指尖のしびれ感」という読者の医師からの質問に私が回答しており、<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=13617>

その内容がネットで掲載されていてアクセス数がかなり多いこと(1日1000ページビュー、トータルで約15万PV)で医事新報社からワクチン筋注による副反応やワクチン接種法について執筆して欲しいと依頼があり、作成しました。

草津でワクチン接種後の腋窩神経麻痺に関して病院が30万円患者に支払ったという記事が掲載され、これから神経障害も問題になってくると思います。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b31e9c42df0e3c6971d00423832b514d80a02ca9>

ダウンロードに2200円かかりますが、ワクチン接種をされる先生方、あるいはワクチンを肩に筋注してなにか副反応があった患者さんを診察される先生方には参考になると思っています。

日本医事新報社の電子コンテンツ内容紹介から

▷新型コロナウイルスワクチンの登場により、日本で筋

肉注射をする機会が格段に増えています。そこで本コンテンツでは、ワクチン筋注の副反応として生じる神経麻痺と肩関節障害(SIRVA)の予防・診断・治療についてまとめました。

▷三角筋へのワクチン接種の危険回避法については、国内でも複数提言が示されていますが、著者は、解剖学的知見と文献、患者・自施設職員の事例を詳細に検討。その結果、独自に見出した「安全な接種部位、危険回避法」を解説しています!

▷さらに、ワクチン接種による腋窩神経損傷、橈骨神経損傷、肩関節障害(SIRVA)について、解剖学知見に基づいた診断のポイントを説明。治療については、ビタミンB12、消炎鎮痛薬、プレガバリンやミロガバリン、運動リハビリテーション、ステロイド関節内注射などの保存的治療法や外科治療など、治療方法の使い分けを紹介しています。

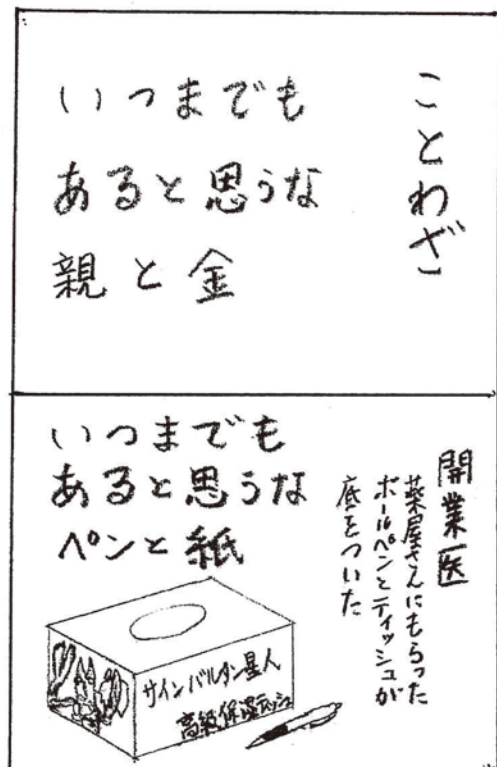
▷実際に著者が診た、ワクチン接種の副反応の可能性が高い関節障害5症例の治療経過も紹介。安全なワクチン筋注と、副反応の適切な診断・治療のために、ワクチン接種に関わる先生方にぜひ読んでいただきたいコンテンツです!

井尻慎一郎 (学 31 期)

The collage includes a line graph showing the cumulative incidence of NASH-related liver damage over 120 months. It also features several text snippets from the article, such as the author's introduction, the abstract, and parts of the main text discussing the pathophysiology and treatment of SIRVA and nerve palsy.

まんが57

世情



どっちが大事?



石原 ぼん太郎 (学31期)

若者



本部だより 会員訃報

次の会員が亡くなりました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医13期 古井清彦先生

令和4年4月21日大動脈弁狭窄症の為に逝去(100歳)。
昭和18年卒。

京都大学にて医学博士号を取得されました。昭和26年に岐阜県にて古井医院を開業になり、院長として地域医療に貢献されました。

ご遺族 二男 秀彦様

学部1期 梅津欣三先生

令和3年1月25日誤嚥性肺炎の為に逝去(92歳)。
昭和27年卒。

卒業後、神戸通信病院外科、大阪赤十字血液センター、東神戸病院、財団法人兵庫県予防医学協会にご勤務になり地域医療に尽力されました。「現役引退後も同窓会や同級生の皆様との交流を楽しんでおりました。あらためてこのような繋がり大切さを感じております。」とのご遺族様のお言葉です。

ご遺族 長男 宗三様

学部2期 高英輔先生

令和元年9月11日老衰の為に逝去(93歳)。
昭和28年卒。

大阪市淀川区にてミツヤ和高診療所を開業され、平成27年に閉院されるまで地域医療の為に尽くされました。

ご遺族 妻 昭容様

学部2期 中村 昭先生

令和4年5月1日老衰の為に逝去(95歳)。昭和28年卒。
京都府八幡市にて中村診療所を開業され、60年間の長きに渡り、在宅訪問診療の先駆者として地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 洋子様

学部5期 村野美美子先生

令和4年7月11日老衰の為に逝去(90歳)。昭和31年卒。
大阪市福島区にて内科を開業になり、地域医療に尽力されました。

ご遺族 夫 壽昭様

学部8期 矢野弘之先生

令和4年1月7日腹部大動脈瘤の為に逝去(87歳)。
昭和34年卒。

卒業後、京都大学産婦人科教室医員として勤務されました(昭和35年4月~昭和37年3月、昭和39年4月~昭和41年3月)。昭和37年4月~国保古座川病院院長、昭和41年3月~市立伊勢総合病院院長、昭和45年4月~京都桂病院院長をお務めになられた後、昭和46年12月に京都市にて矢野医院を開業になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 チズ子様

学部13期 田中晃子先生

令和4年5月22日急性心不全の為に逝去(82歳)。
昭和39年卒。

明石市にて田中医院(内科・小児科)を開業になり、院長として地域医療に尽力されました。

ご遺族 長男 陽一郎様

学部15期 山口信行先生

令和4年6月23日骨髄異型症候群の為に逝去(81歳)。
昭和41年卒。

昭和44年に大学院を卒業されました。生駒総合病院での勤務を経て、昭和51年に大阪市淀川区にて山口内科を開業になり、平成29年に閉院されるまでの長きに渡り地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 澤子様

学部16期 木村博子先生

令和4年7月5日子宮体癌の為に逝去(80歳)。
昭和42年卒。

昭和43年4月に慶應義塾大学産婦人科に入局され、助手としてご勤務になりました(13年間)。昭和45年6月~国立埼玉病院、昭和50年6月~仁寿会荘病院、昭和57年4月~清和病院(和泉市)での勤務を経て、昭和57年5月に大阪市北区に木村クリニックを開業され、院長として地域医療に携わっておられました。

ご遺族 弟 貴明様

学部18期 藤田 保先生

令和4年7月8日肝臓癌の為に逝去(80歳)。

昭和44年卒。

卒業後、母校でインターンとして勤務の後、神戸市東灘区にて藤田外科医院をご開業になり、令和元年に閉院されるまでの43年間を地域医療の為に尽くされました。

ご遺族 妻 真澄様

学部19期 有吉徳雄先生

令和4年7月28日膵癌術後再発の為に逝去(80歳)。

昭和45年卒。

昭和54年に福岡県宗像市にて有吉産婦人科を開院されました。平成18年にありよしレディースクリニックに名称変更され、地域医療に尽力されておられました。

ご遺族 妻 美嵯子様

学部26期 傍島 徹先生

令和4年5月22日去勢抵抗性前立腺癌による脳梗塞の為に逝去(70歳)。昭和52年卒。

卒業後、母校胸部外科学・第二病理学で博士号を取得されました。星ヶ丘厚生年金病院にて呼吸器外科部長を、みどり会中村病院にて呼吸器外科顧問をお務めになり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 悦子様

学部41期 山本泰子先生

令和4年5月12日食道癌化学放射線治療中誤嚥性肺炎併発にて逝去(55歳)。

平成4年卒。

卒業後、母校放射線教室に入局されました。兵庫県医科大学病院での研修を経て、医療法人協和会協立病院にて放射線科部長として20年間お勤めになられた後、康仁会西の京病院放射線科に勤務され、地域医療に携わっておられました。

ご遺族 父 重治様 母 耀子様



ハードルをジャンプ!!

地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの

医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻

tel: 072-761-8434

編集部より

会費納入のお願い

年会費

令和4年度 10,000円

令和3年度 10,000円

令和2年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●53巻6号(令和4年11月1日発行)

締切 令和4年9月末日

●54巻1号(令和5年1月1日発行)

締切 令和4年11月末日

●送付先: 仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail: jimuj@jinsenkai.net FAX: 072-682-6636

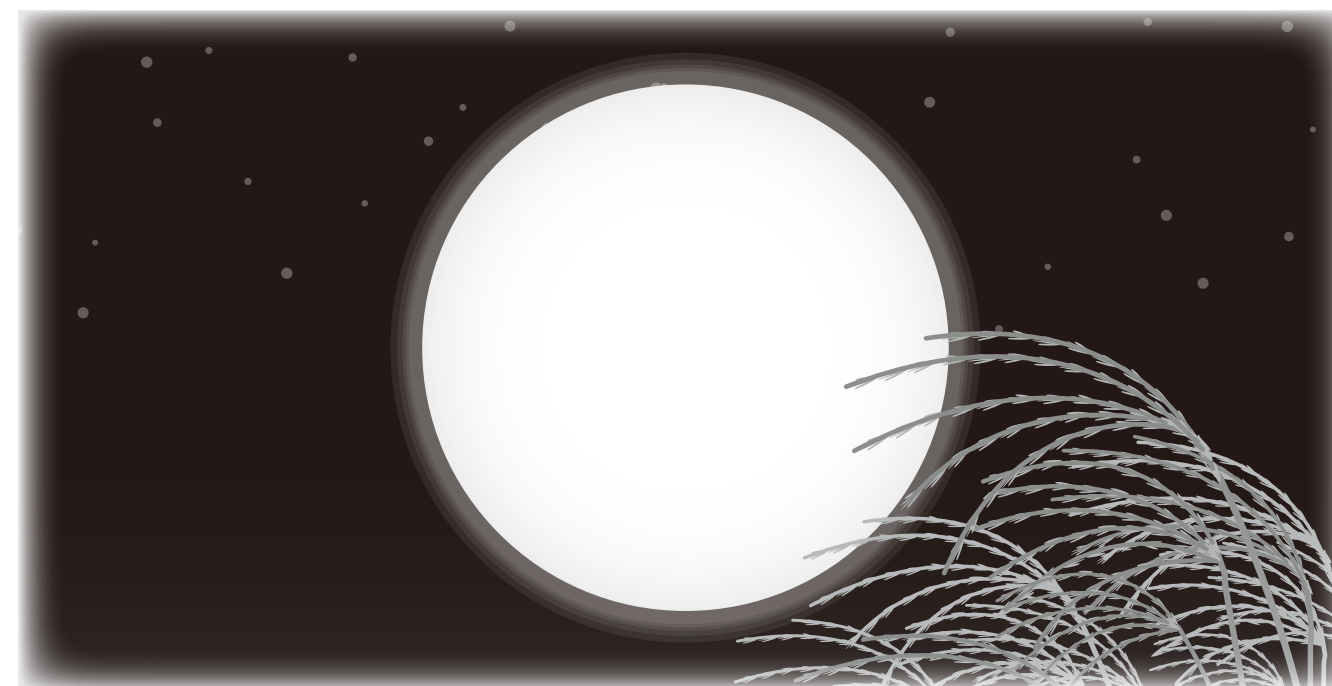
編集後記

新型コロナウイルス感染症は、とどまるどころを知らず拡大を続けています。これからの取り扱いについても議論が重ねられていますが、なかなか妙案はないようです。

さて、今号には高槻、神戸支部会の記事を掲載しました。神戸支部会では懇親会も開催されています。コロナ禍のなか、今後懇親会などのあり方も変化してゆくのでしょうか、やはり同窓が交流を深めることは楽しみなことだと思います。

もう一編、女医会開催の報告があります。大阪医科薬科大学になって初の開催でした。現在、臨床に従事

する医師中女性医師が占める割合は全年齢層では約23%ですが、29歳以下に限定すると36%と推計されます。年々女性医師の割合は増加しています。診療科目別では皮膚科、眼科、麻酔科での割合が高く、新卒者では皮膚科、産婦人科、小児科を希望する女性医師が多いとされています。人気薄なのは泌尿器科、外科、整形外科です。他職種同様、教授などの役職者では女性の占める割合は低く、世界的にも下位に位置していますが、今後の改善を期待します。近い将来、女医会は役目を終え、男医会が結成される日が来るのでしょうか。(治)



新築 医療ビル

JR芦屋駅 東 800M 閑静な住宅地



建物概要

所在地 芦屋市翠ヶ丘町2-8

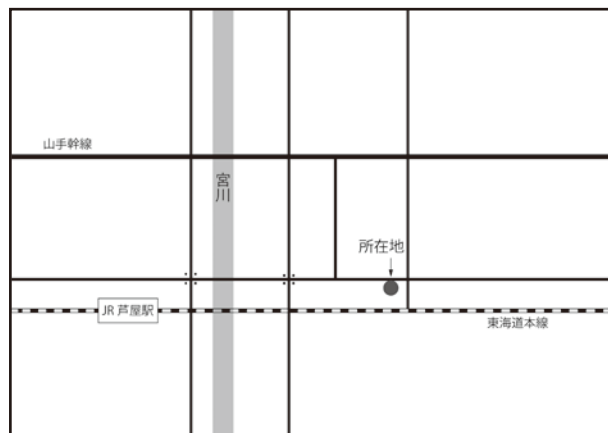
鉄骨ALC 3階建て
 令和元年10月 築
 2階、3階未入居
 エレベータ、駐車場4台 自転車置き場有り

現在 1階 内科、薬局 開業中

賃貸面積 2階、3階共 約 200㎡ (約61坪)
 スケルトン渡し
 3階はトイレ設備設置済

貸主 株式会社ファンクレール
 神戸市東灘区岡本2丁目

賃貸条件等についてはお問い合わせください。



お問い合わせ先
株式会社 一灯舎
神戸市中央区御幸通3-2-5
☎078-221-3002